

# 防火対象物使用開始届出書 記入見本（おもて面）

- 記入の際には、消えないペンを使用してください。
- 書き間違った場合には、二重線で消して、余白に正しい内容を記入してください。修正液や修正テープは使わないでください。訂正印は必要ありません。
- 使用を開始する**7日前**までに、管轄消防署へご提出ください。

■分からなければ、記入不要です。

- 【他の法令による許認可】とは、
  - ・住宅宿泊事業法
  - ・老人福祉法
  - ・介護保険法
  - ・風俗営業等の規制及び業務の適正化に関する法律等による許認可のことを指します。
 分からなければ、記入不要です。

■最大の従業員数とその他の人員（お客さん等）の合計を記入してください。

■何も記入しないでください。

様式第9号  
(その1)

防火対象物使用開始届出書

令和6年5月10日

神戸市消防長 宛

届出者  
住所 神戸市東灘区住吉町3丁目 X-X  
(電話078-33X-0119)  
氏名 神戸消防株式会社 代表取締役 神戸太郎

神戸市火災予防条例第52条第2項の規定により次のとおり届け出ます。

所在地	神戸中央区 加納 通 6丁目 神戸消防ビル 4階及び5階 (電話078-33X-119X)
名称	消防カレ-神戸店 主要用途 飲食店
種別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 修繕 <input checked="" type="checkbox"/> 模様替え <input type="checkbox"/> 用途変更
建築確認年月日	令和6年1月8日 建築確認番号 119X号
消防同意年月日	令和5年12月20日 消防同意番号 19X号
工事着手年月日	令和6年4月 (予定) 工事完了年月日 令和6年5月 (予定) ※使用開始年月日 令和6年5月20日 (予定)
住所	神戸中央区三宮町1丁目1-X (電話078-32X-001X)
工事施工者氏名	(有) 神戸消防工務店
他の法令による許認可	食品衛生法第52条による営業許可
敷地面積	112.4㎡ 建築面積 101.2㎡ 延べ面積 750.8㎡
収容人員	12 公開時間又は従業員時間 午後5時~午後7時 翌午前1時
屋外消火栓 屋外消火栓 動力消防ポンプ 消防用水の概要	<input type="checkbox"/> 屋外消火栓 <input type="checkbox"/> 動力消防ポンプ <input type="checkbox"/> 消防用水 (概要)
その他必要事項	
受付欄	経過欄

- 記入日ではなく、実際に管轄消防署に届け出る日付を記入してください。
- 西暦（20××年）、和暦（令和×年）は問いません。

- 届出者（占有者）が法人の場合、その名称、代表者の役職・氏名、主たる事業所の所在地を記入してください。
- 個人の場合、お住まいのご住所を記入してください。

■模様替えの□にチェック☑を入れてください。（建築確認申請が必要な場合は、該当する種別にチェック☑を入れてください。）

- 建築物の面積を記入してください。
  - 【敷地面積】敷地（土地）の面積。
  - 【建築面積】建築物を真上から見たときの建物の面積。
  - 【延べ面積】建築物の各階床面積の合計。
- 分からなければ、延べ面積の枠に使用する部分の床面積の合計を記入してください。

# 防火対象物使用開始届出書 記入見本（うら面）

- 記入の際には、消えないペンを使用してください。
- 書き間違った場合には、二重線で消して、余白に正しい内容を記入してください。修正液や修正テープは使わないでください。訂正印は必要ありません。
- 使用を開始する**7日前**までに、管轄消防署へご提出ください。

■使用する階ごとの占有部分の床面積、用途を記入してください。  
使用しない階については、記入不要です。

■床面積の合計を記入してください。

■記入不要です。

棟名称 （神戸消防ビル）	用途 複合用途 （分別表第2/16頁）		構造 RC造 （ <input checked="" type="checkbox"/> 耐火 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 準耐火 <input type="checkbox"/> ローコスト）		消防用設備等の概要			
	種別 ※階別	※床面積 (㎡)	※用途	消火設備	警報設備	避難設備	消防活動上必要な施設	
4階	89.7	飲食店	消火器	自動火災 警報設備	誘導灯	連結送水管		
5階	86.5	飲食店	消火器	自動火災 警報設備	誘導灯	連結送水管		
階								
階								
階								
階								
計	176.2							

## 備考

- 届出者が法人である場合は、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
- 同一敷地内に2以上の棟がある場合には、棟ごとに様式第9号（その2）に必要な事項を記入して、添付すること。
- 他の法令による許可等とは、例えば、仮設許可及びその有効期間、営業許可、用途地域制限に関する許可等である。
- 神戸市火災予防規則第14条第2項各号に定められた図書を添付すること。  
なお、本届出書の提出までに、建築基準法第6条第1項（同法第87条第1項において準用する場合を含む。）の国土交通省令で定める軽微な変更があった場合は、当該軽微な変更の内容を記載すること。
- ※印の欄は、必ず記入すること。
- 印のある欄については、該当の□印にレを付けること。
- 屋外消火栓、動力消防ポンプ、消防用水の欄は、該当の□印にレを付け、概要を記入すること。

■建物の用途と構造を書いてください。  
分からなければ、記入不要です。

■各階に設置されている、消防用設備を記入してください。  
分からなければ、記入不要です。  
■枠内に書ききれないときは、余白にご記入ください。

・消火設備  
消火器、屋内消火栓設備、  
スプリンクラー設備、泡消火設備、  
不活性ガス消火設備、粉末消火設備 等

・警報設備  
自動火災報知設備、ガス漏れ警報設備、  
非常警報設備（非常ベル、放送設備） 等

・避難設備  
すべり台、避難はしご、救助袋、緩降機、  
誘導灯及び誘導標識 等

・消防活動上必要な施設  
連結散水設備、連結送水管、  
非常コンセント設備 等

## 付近見取り図の作成例

地図サイト、アプリ等を活用し、入居する建物の場所がわかるよう示してください。

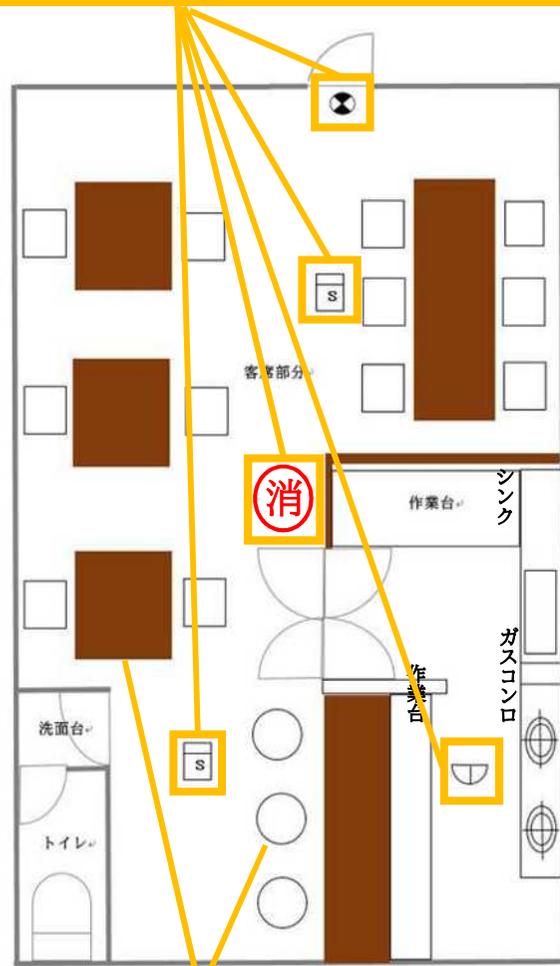


■付近に目印となるような大きな建物や道路があれば、地図に入るように作成してください。

■対象物を丸印で囲んでください。

## 平面図の作成例

■室内に設置されている消防設備の場所を明示してください。  
設備の記号がわからない場合は、○：誘導灯 △：感知器  
のように設備ごとに記号を決めて記入してください。



■フロア内に配置する椅子、棚、厨房設備等についても明示してください。



…誘導灯

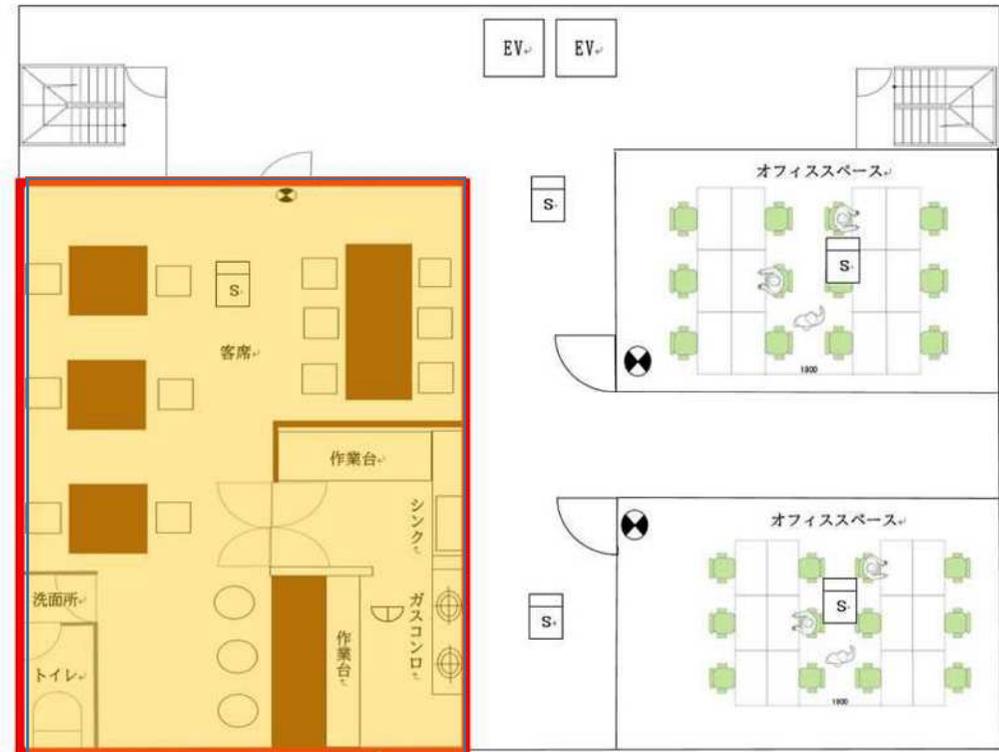


…煙感知器



…熱感知器

■天井、壁、床の内装に変更がある場合は、内装仕上げ表を添付するか、使用した内装材について記載してください。  
【例 壁：不燃ビニルクロス貼(〇〇社製 MT-〇〇)】



■階の一部を契約(占有)される場合は、入居する部分を明示してください。